



3月1日(金)、三浦市役所第2分館において、みうら学・海洋教育推進委員会が開かれました。

海洋教育部会の先生3名(岬陽小加藤先生、初声小望月先生、初声中藪崎先生)と東京大学三崎臨海実験所(今回は欠席)、市教育委員会、本研究所で構成し、三浦市独自のカリキュラムを作る中心になっています。検討したカリキュラムは、既に、先生方のPCから簡単にアクセスできるようになっています。

「グローバルな視点を持って、地域を学ぶ」ことを重点にするなど、来年度の方向性も確認されました。



7日(木)、初声中学校2年生が、県立海洋科学高校の先生の出前授業を受けました。今年で3年目を迎えます。テーマは、昨年に引き続き、「海洋気象」でした。

海陸風の影響で、マリンスポーツや船の出航は午前中がよいのだそうです。実習船湘南丸では、航海中、気象観測を行い、それを気象庁に、インターネットで送っていて、これが貴重なデータになります。アカマンボウ、シイラ、ミズウオ

など珍しい魚の写真も紹介されました。これらのデータは水産庁に送られるそうです。

温帯低気圧と熱帯低気圧の違いにも触れられました。温帯低気圧は、楕円形が多く、寒冷前線や温暖前線を持ち、熱帯低気圧(台風やハリケーンなど)は、ほぼ円形で、前線を持たないのが普通です。北半球で、背中に風を感じたら、気圧の低いところは左手前にある(ボイス・バロットの法則)ことについても説明がありました。魚のクイズ等を交えながらの楽しい授業でした。



19日(火)、旭小学校3年生が、ワカメパーティを行いました。

上宮田漁協の吉田利之さん、吉田貴広さん、保護者の松井さんの協力で、ワカメやタイ、ハマチのしゃぶしゃぶをいただきました。

子どもたちは、自分たちが種差して成長したワカメを、包丁で切り、お湯でしゃぶしゃぶして、うれしそうに食べていました。

児童は、食事後、お礼に「365日の紙飛行機」を元気に歌いました。

吉田さんや松井さんも、子どもたちがおいしそうに食べて喜んでいる姿を見て、とてもうれしそうでした。このような地域の皆様のご協力が、たいへんありがたいです。



(文責 事務局長 渋谷)

海洋教育に関するお問い合わせは、みうら学・海洋教育研究所854-9443まで